

栗原小学校創立80周年

笑顔いっぱい思い出になるよう盛り上げよう!

栗原小学校創立80周年実行委員会 実行委員長 遠藤 邦昭

令和4年10月29日(土)、晴れ渡る秋空のもと、栗原小学校創立80周年記念式典が開催されました。

遡ること、令和3年11月。まさに新型コロナウイルス感染症第5波が落ち着いた頃、PTA顧問会が開催され、周年行事の会合がスタートします。当初より苦難の連続。コロナ禍における周年行事の進め方について、頭を悩ませ議論が続きました。オミクロン株襲来の中、記念Tシャツ作成は、児童、先生、保護者からデザインを募集。発注時には新型コロナウイルス感染症の影響によりTシャツ自体の在庫が枯渇するという事態が発生。そんな状況もPTA本部役員により何とか在庫を確保。そして、令和4年5月。10月29日(土)の式典開催が決定。区の方針に基づき、招待客を制限した上で、飲食を伴う祝賀会は行わないという方向で、PTA顧問会で合意され、その後、開かれた学校づくり協議会の皆さまのご支援のもと、学校、PTAとともに実行委員会が立ち上がりました。

80周年記念運動会では、伝統の「栗原音頭」、そして新たな伝統になりつつある「よさこいソーラン節」等、80周年記念パレードの楽しい運動会となりました。また、「子どもを笑顔にするプロジェクト」に賛同し、北京五輪、陸上男子4×100メートルリレー銀メダリストの塚原直貴さんを招いてかけっこ



教室を開催。児童集会では、子どもたちが調べた学校の歴史の発表のほか、歌あり、踊りあり、歴史クイズあり。各イベントで、みんな笑顔で盛り上げてくれました。

式典当日は、教育長をはじめ区関係者、地域協力者、町会長、学校関係者等をお招きしました。会場は楽しい雰囲気装飾され、歴史を振り返る展示も飾られ、旧職員や地域の方から懐かしいというお声をいただきました。また、厳かな式典を第一部、楽しい子どもたちのアトラクションを第二部とし、歴史を振り返る子供たちの「呼びかけ」に始まり、歌や「よさこいソーラン節」が披露され、その心こもったメッセージに、私たちも胸が熱くなりました。式典の最後は、田中校長先生手作りの「くす玉開き」で大盛り上がり。まさにコロナ禍を乗り越えて、子どもたちのたくさんの笑顔に出会えた式典で幕を閉じました。

西新井第一小学校創立70周年

「創立70周年おめでとう!」

西新井第一小学校創立70周年記念事業実行委員会

実行委員長 杉田 直子

「ジーゾー」という代表委員の掛け声で、一斉に色とりどりの500個の風船が、ファンファーレと共に西一小の校庭から空高く舞い上がりました。校庭には350名の子どもたちと教職員の皆様の他に、開かれた学校づくり協議会委員の皆様、地域安全ボランテアの皆様、キッズはれつとスタッフの皆様、連携保育園の子どもたち、そして素晴らしい演奏と歌を披露してくださった西新井中学校吹奏楽部の皆様をお招きして、一緒に風船を飛ばし、西一小の70周年を祝うことができました。



新型コロナウイルス感染症の影響で、様々なことが今まで通りに行かない中で、学校の周年をどのように迎えたら良いのか、実行委員会としては、学校のために、そして子どもたちの思い出に残るようにと検討を重ね、「記念式典の挙行」「記念誌の発行」「記念品の贈呈」そして「風船飛ばしイベント」を行うことに決めました。

まず記念誌については、西一小70年間の歴史と伝統をわかりやすく伝えるため、たくさん写真や資料を集め、編集に趣向を凝らしました。表紙を風船飛ばしの瞬間の写真で仕上げた記念誌委員会の力作です。

また、記念品には西一小の校帽の色の折り畳みエコバックや、航空写真のクリアファイルや、「にしいちのマーチ」とデザインされたお菓子などがあり、子どもたちの喜ぶ顔を想像しながら、記念品委員会が選定しました。

そして10月22日(土)には、体育館に西一小ゆかりの百余名もの方々に見守られて記念式典が挙行されました。

10年に一度の節目のときに、過去を振り返り、西一小がどれほどの方々の思いに支えられ、70年もの間、地域の学校として愛されてきたことを再確認し、改めて学校と家庭と地域の連携の重要性を知ることとなりました。コロナ禍の中、今までと同じようにはできないことも多々あると思いますが、引き継ぎ残していくべきものを見極め、形を変えてでも今後に伝えていく方法を考えるよい機会なのではないでしょうか。

そして、10年後の周年でも、元気な西一小子たちと一緒にマスクのない笑顔で、大空に風船を飛ばせることを楽しみにしたいです。

結びに、西一小創立70周年記念事業に際し、ご支援、ご協力を賜りましたすべての方に御礼申し上げます。ありがとうございました。

日帰り研修会・講演会

研修実行委員長 土田 恭宏

10月30日(日)日帰り研修バス旅行が開催されました。横須賀・三崎方面に向かい、先ず横須賀では軍港巡りの船に搭乗し45分の船上からの見学を行い、潜水艦や軍艦の見学をいたしました。年末には航空母艦ロナルドレーガンが入港予定とアナウンスされていきました。下船すると、港の一角でカレーフェスタが実施されており、多くの人出で賑わっております。

その後、三崎方面に向かい昼食を済ませ、ミカン狩りを行いました。ちよつと酸っぱかったですが、各自持ち帰ることもできました。移動のバス内では、研修の1環として子ども教育に関するDVDを見て、地区対委員の知識向上に努めました。

研修の最後に参加者の皆さんにアンケートをとりました。その結果、次回以降の実施時期・場所の希望は、10月頃・東京近郊との回答が殆どでした。行き先としては、工場見学・体験型施設の希望が多く、次年度の計画の参考にさせていただきます。



次に、11月12日(土)西新井小学校体育館をお借りし「一般社団法人日本ほめる達人協会」専務理事松本秀男様による講演会を開催しました。松本様の経歴は、歌手のさだまさしさんのマネージャーを8年半務められた後、外資大手損保会社の代理店研修生として月収20000円のどん底から「視点と言葉を変える」ことでトップ営業となり、その後伝説のトレーナーとして前年実績130%に業績を伸ばし、本社経営企画部マネージャーとなり社長賞を受賞したこともあります。



今回実施した講演は、「徹底的に人の価値を見つけ、人と組織を動かす業績を上げ、家庭までも元気にする」というほめる達人として、先ずは「ありがとう」の感謝の言葉を中心に、ほめ方の手法をご教授頂きました。1時間半の講演でしたがすっかりのめり込んで聴取してしまいました。